

スタートアップから企業に 新しい段階に入りつつある Maker ムーブメント

高須正和のアジアンハッカー列伝

これまで何回か触れてきた HAX(旧名 HAXLR8R から改称)が、9 月から HAX Boost という新しいプログラムを始めています。Maker が始めたスタートアップを、企業として成り立たせるような動きです。

HAX Boost

"It's better to think of distribution as something essential to the design of your product. If you've invented something new but you haven't invented an effective way to sell it, you have a bad business—no matter how good the product." — Peter Thiel

You bring a product, a team of 2 (one founder + one employee in charge of sales), and your ambition to grow. Successful applicants are doing something hard for a well-defined market. We add mentorship, a shared office in San Francisco, specialized staff to help with sales, marketing, logistics and more.

Immerse yourself into an intense startup community of like-minded hardware hackers and entrepreneurs. We are currently reviewing applications for Boost01. The program will begin in September 2015. Applications are due July 11th. Get to it!

APPLY FOR Boost01

Vital Stats

- 42 intense days of selling
- Office space, staff resources
- 2% equity
- San Francisco: channel optimization, online sales, offline sales, logistics

キャプション：[HAX Boost](#)

■Maker ムーブメントの経済的価値

オープンソース・ムーブメントの成果は、ソフトウェアでは日々感じることができますが、ハードウェアではまだ体感するのは難しいです。

皆が日々見ている Web ページ、Android のスマートホン、それらは Linux のカーネルや Apache 等の Web サーバによって動いています。また、電子メールや HTML といった規格、Javascript などの要素技術、プログラミング環境など、オープンソースと切り離してインターネット、ひいては現代社会を語ることは難しいと思います。Google や Facebook といった世界を代表するソフトウェア企業が、オープンソースのテクノロジーをベースに会社を運営しています。データベースソフトの Oracle や Web アプリケーションサーバの

Weblogic といったかつての代表的ソフトウェアは、オープンソースのものに比べると存在感が小さくなってしまいました。

ハードウェアについてはまだそういう段階ではありません。Arduino や 3D プリンタで作られたものを日常的に使用している人はまず見ず、ギークがある程度集まっても、Kickstarter で買った物を持っている人は半分行かないことが多いです。Kickstarter のハードウェア関連で最も成功した Pebble Time で 2000 万ドルほど（およそ 20 億円。以下、1 ドル 100 円として計算します）。みんなが持つような製品とはケタがいくつも違います。

目の前で見られる規模としてはまだきわめて小さいにもかかわらず、メイカームーブメントに注目が集まっている理由は、ソフトウェアで見られるような急成長するスタートアップが、ハードウェアでも見られることになったからです。

たとえばアクションカメラの GoPro は Maker ムーブメントの中に位置づけられる企業です。2008 年にいきなりできた企業が、それまでになかった「アクションカメラ」という製品を世に出して急成長し、株式公開を行い、2014 年 10 月の時点での時価総額は 82.3 億ドル（8230 億円）となりました。その後の世界同時株安で、9 月 12 日現在は 42.5 億ドルまで下がっていますが、同じ時期のニコンの時価総額が 5857 億円ですから、世界を代表するカメラメーカーであるニコンと比べられるレベルまで、短期間で成長したことになります。

■期待値で上がる株価

時価総額の大きさは、株式市場、ひいては世間からの評価の証です。年間 8577 億円の売上を上げているニコンに比べ、GoPro の売上げは 2000 億円に届かないのですが、「急成長しているのだから、もっと大きくなるだろう」という期待値が株価を上げているとみることができます。



キャプション：GoPro.Inc の[時価総額](#)

メイカームーブメントが可能にした、それまでより早いプロトタイピングや、クラウドファンディングによる資金調達、オンラインで発注できるサプライチェーンなどにより、個人や小さいグループが、独自でハードウェアの製品を開発して販売し、急速に会社を大きくすることができるようになりました。ソフトウェア・Web サービスなどの企業が、クラウドにより少ない初期投資でサーバ類が用意でき、様々なツールにより大規模なソフトウェアが安価に開発できるようになったことにより、ソフトウェアのスタートアップ企業が生まれたのと、構造的にはそっくりです。

もちろん、ソフトウェアの会社と同様、スタートアップ(起業)した人たちが必ず成功するわけではなく、多くは道半ばに倒れる、投資家にとっても万馬券を当てるようなものですが。

■高速で成長しなければならない

スタートアップがお金を集めるためには、成長速度を早めて「今投資しておく、もっと大きくなる」と世間に思わせる必要があります。そのために多くの人がほしがるようなプロトタイプを高速に開発し、クラウドファンディングで大人気になるために努力します。純粋な利益だけを考えると、クラウドファンディングでの成功と大成功のあいだに、とんでもない差はないのですが、「目立って評判になる」ことでさらに資金調達を可能にして、よりよい製品を作る確率が高まります。

HAX が開発拠点を深圳に置いているのは、深圳が世界で最も高速にハードウェアの開発・小規模量産手配が行える場所だからです。これまでの HAX の卒業生はクラウドファンディングの成功率 100%、そしてほとんどの会社がその実績を糧に、次の段階の資金調達に成功しています。

とはいえ、投資家から資金調達して、その資金で開発を繰り返しているのは、まだスタートアップの段階です。消費者から製品の売上げが入ってきて、投資ではなく売上げを収入として回していく、普通の企業になる段階がやがてやってきます。

HAX の卒業生も、いくつかの会社はその段階に到達しつつあります。HAX は、その段階の企業をより成長させるために、今年（2015 年 9 月）から、HAX Boost というプログラムをはじめました。

ハードウェアを市場で売るには、たとえば初期不良への対応などといったカスタマーサポートや、問屋さんに扱ってもらって一般の電気屋に置いてもらうといった、ソフトウェアに比べると **Face to Face** のやりとりが必要になります。最初は自分のサイトで直販だった段階から、amazon のようなオンライン販売ショップ、次いで専門店、ついには一般電気店といったかたちで、順次販売網を広げていく必要があるし、おそらく取次店によって説明する資料も変えていかねばならないでしょう。また、「たとえばテニス向けのハードウェアを大きいテニス教室のチェーン店にまとめて採用してもらう」みたいな、営業的な対応や販売戦略も必要になります。

HAX Boost は、株の 2% を HAX 側にそのときの時価総額で渡すことにより参加でき、HAX は買った株がもっと大きくなるように、販売戦略を一緒に立てて、もともとコネクションがある販売網を紹介したり、BtoB のクライアントをつなげたりします。製品開発ではないので、このプログラムはサンフランシスコで行われます。



キャプション：HAX BOOST のプログラム （出典：HAX）

そういった仕事がある程度大きくなり、専門的に行うチームやその責任者が必要になってくると、ハッカーや Maker といった世界と言うよりもだいたい会社っぽくなります。

HAX 創業者の Cyril はもともとチャイナアクセラレータ、SOS ベンチャーズといった投資

集団の役員で、500 Startup 等のメンターも行っており、Hacker というよりは事業家としてのキャリアがメインの人間で、HAX Boost を発表したばかりの 5 月にプログラムについて話したときは、「何しろ初めての試みなので、具体的にどういことをやるかはまだぜんぜん決められない。参加する会社によってもけっこう違うだろう。君も時間があったら、コミュニティに関してとかを話しに来てくれよ」と、すごく楽しそうにプランを立てていました。



今年 6 月、移転したばかりの HAX オフィスでプレゼンする Cyril

個人や少人数のグループが、自分の夢や趣味の延長線上で始めたプロジェクトが、せいぜい数年で企業になり、世界を革新するようなみんなが使う「製品」を生み出すことができるようになったのは、Makerムーブメントの大事な成果です。

ソフトウェアで成功するスタートアップが多く生まれ、その経済的な効果などもあって、社会がプログラミングやテクノロジーに対してもっと軸足を向けるようになったように、ハードウェアでも多くの成功するスタートアップがどんどん出てきて、ハードウェアに関するテクノロジーに注目が集まることを期待しています。